



歌浦っ子だより (学校だより)

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子ども育成」

平成30年 7月20日 文責:校長 内野義和

学校の田んぼで田植え



先週の金曜日、学校の運動場の隅に作られた田んぼで、5年生による田植えが行われました。

子どもたちが楽しそうに田植えをしている様子を見ながら、先々週に行った修学旅行での見学場所の吉野ヶ里遺跡や九州国立博物館での説明を思い起こしました。

米が日本にもたらされたことで、今までの狩猟・採集という不安定さから解放され、米は貯えることができるので、飢えるという恐怖や飢えから解放されました。一粒の米から何百倍もの米ができるということで、弥生時代の人々は不思議

に思うと同時に、ありがたがったと想像できるとの説明もありました。ですから、米作りは九州にとどまらず、遠くは東北地方の北部まで広がったのです。

その後、人口が増えていき、今の日本があると考え、この米の伝来、米作りは命の源です。日本人としてしっかり受け継いでいかなければなりません。

そういう意味で、本校では、サポートティーチャーの松田さんのご指導のもと、塩水選から収穫まで体験できるのは、とても貴重なことです。本当に感謝です。ありがとうございます。

夏休みも、5年生は当番を決めて、稲の管理をしていきます。秋の収穫が楽しみです。

楽しかった宿泊体験学習

5年生の宿泊体験学習が7月18日(水)、19日(木)の2日間で行われました。今までは、世知原少年自然の家で行い、沢登りをメインにしていたのですが、せっかく海の体験ができる施設(鹿町海洋スポーツ基地)が鹿町にあるので、そこを活用し、海の体験をしっかりさせたいという思いから、鹿町小との合同で行いました。

1日目は、シーカヤック体験、磯遊び、テント設営、カレーづくりをしました。天気にも恵まれ、夏の日差しの中、すばらしい体験ができました。テントで寝ることははじめての子どもも多く、よい体験になりました。



2日目は、場所を歌浦小学校に移し、水産教室と九十九島教室を体験しました。あじをさばき、ムニエルを作り、食べました。また、九十九島のよさについて学んだり、プランクトンや稚魚の観察をしたりしました。

海の学校ならではの学習や体験ができたすばらしい2日間となりました。ご協力いただいた関係機関の皆様、ありがとうございました。

前期前半終了

今日をもって前期前半が終了しました。

全校朝会で次のような話をしました。

- ①1年生へ…入学式のときに話した3つのお願い(元気・考える・仲良く)はできましたか。
- ②全学年へ…「やさしい心と夢かがやく」ために、3つの「あ」と返事・反応の中でも、特に「気持ちのよいあいさつ・返事」、「めあてをもつこと、夢をもつこと、実現に向かって努力すること」などを学校でも家でも実践しましたか。
- ③命の学習について…限りある命を大切に生きていくこと。いじめは絶対にしないこと。お互いに思いやること。できましたか。
- ④平和学習について…戦争の事実を知ること。平和の大切さやありがたさを知ること。命の学習と同じ、大切なのは続けること。できましたか。
- ⑤行事の振り返り…1年生から6年生までの代表的な行事で。
- ⑥夏休みに入るにあたり、校長先生からのお願い
 - ・危険を察知し、回避すること。身を守ること。命を守ること。けが・事故ゼロで8月9日、8月21日、9月3日に学校へ来ること。
 - ・地域の行事に積極的に参加すること。地域のよさを知ること。地域の人たちを知ること。地域の人たちからさらにかわいがってもらうこと。

明日から長い夏休みに入ります。学校ではしっかり安全指導を行いました。ご家庭でも、「夏休みの生活のしおり」を使い、ご指導をよろしくお願いします。特に、**交通安全、水の事故防止については繰り返しのご指導**をお願いします。前期前半、いろいろなご協力をいただきました。ありがとうございました。